

戸田中央総合病院 ローイングクラブ Red Angels



終わらない
挑
戦

まだ満足できない。
自分はこんなもんじゃない。
もっと強くなる。
もっと速くなる。
日本一になれるのか。
世界で戦えるのか。
さらなる高みへ。
そんなあなたに
戸田中央総合病院R.C.を
提案します。

CONTENTS

| | |
|------------|----|
| 代表挨拶 | 2 |
| クラブの概要 | 3 |
| 沿革 | 4 |
| 戦績 | 5 |
| 日本代表活動 | 6 |
| メンバー紹介 | 7 |
| 2023年 年間予定 | 9 |
| 1日の流れ | 10 |
| 勤務について | 11 |
| OBOGインタビュー | 12 |
| 施設紹介 | 13 |
| 社会貢献活動 | 14 |

代表挨拶

戸田中央総合病院ローイングクラブ
代表 中村 毅



戸田中央総合病院ローイングクラブは、2004年に埼玉県で開催された「彩の国まごころ国体」を迎えるにあたり、埼玉県チームの選手強化を目的として2002年に創部されました。創部当初は少数名で活動しておりましたが、その後の部員たちの努力と活躍により、全日本選手権をはじめとする国内主要大会でのタイトル獲得はもとより、オリンピックや世界選手権、アジア大会などの国際大会にも日本代表選手を輩出するに至り、今では、わが国屈指のクラブチームと言われるまでに成長してまいりました。

当クラブは、1964年の東京オリンピックで使用された「戸田漕艇場」という恵まれた練習環境のもと活動しています。また、近年では、全日本選手権や国民体育大会等の大会で優秀な成績を修めた職員選手を「クラブ指定強化選手」として認定し、選手としての活動をサポートする等、さらなるチーム強化にも努めております。

当クラブの母体である戸田中央総合病院は、1962年の開設以来、「愛し愛される病院」という理念のもと、半世紀以上にわたって地域と共に歴史を刻んでまいりました。当クラブも同様に、引き続き国際大会や全国規模の大会での好成績をめざすと共に、「市民ボート教室」への協力をはじめとする社会貢献活動にも尽力することで、地域に根ざした皆さまから愛されるクラブとして、さらなる精進を重ねてまいります。

クラブの概要

チーム概要

創部 2002年

代表 中村毅 (戸田中央総合病院 理事長)

部長 藤野浩一郎 (TMG本部人財開発センター センター長)

副部長 橋本敦 (TMG本部総務部 次長 兼 総局長室 室長)

米窪貴志 (戸田中央総合病院 副事務長)

監督 田立健太 2009年～2017年日本代表

チーム目標 全日本選手権、国民体育大会優勝
オリンピック・パラリンピックへの日本代表選手派遣

部員数 漕手9名、COX1名

戸田中央メディカルケアグループについて



Toda Medicalcare Group
戸田中央メディカルケアグループ

TMGは、一都四県下に29の病院と6つの老人保健施設のほか、特別養護老人ホーム、クリニック、健診センター、訪問看護ステーションなど、合計120カ所の関連事業所を展開。首都圏の各エリアで、医療・介護・保健・福祉を担うトータルヘルスケアネットワークを形成しています。グループの医療機関・施設では、総勢約1万6千名の職員が働いています。板橋中央医科グループ(IMS)、上尾中央医科グループ(AMG)と成す中央医科グループ(CMS)は日本で2番目の規模を誇る医科グループです。

開設年月 1962年8月16日

会長・CEO 中村毅

理事長・COO 横川秀男

沿革



2002 2004 2006 2007 2008 2010 2017 2021 2022

創部

全日本社会人選手権男子初優勝
地元埼玉国体で準優勝

日本代表初選出

全日本選手権女子初優勝

オリンピック初出場

全日本選手権男子初優勝

国民体育大会初優勝

パラリンピック初出場

全日本社会人選手権女子初優勝



2010

M4-で全日本
男子初優勝

2007

W1Xで全日本
チーム初優勝



2008

オリンピック
初出場



2021

パラリンピック
初出場

戦績

創部3年目2004年の地元・埼玉国体のM4+準優勝を皮切りに、
数々の大会でメダルを獲得してきました。
全日本級での優勝は実に22回に上ります。

全日本級大会別戦績

| | |
|-----------|--------|
| 全日本選手権 | 優勝10回 |
| 全日本社会人選手権 | 優勝9回 |
| 全日本軽量級選手権 | 優勝4回 |
| 国民体育大会 | 優勝1回 |
| | 他メダル多数 |



直近の戦績

●2022年

▷全日本選手権

- M4- 優勝
- W2X 準優勝
- M2- 3位

▷全日本社会人選手権

- M8+ 優勝
- W2X 優勝
- W4X 優勝
- M4X 準優勝

▷国民体育大会

- M4+ 準優勝

●2023年

▷全日本選手権

- M4- 優勝
- W2X 優勝
- W8+ 準優勝
- M2- 3位

▷全日本社会人選手権

- W2X 優勝
- M2- 準優勝
- W4X 3位



日本代表活動

世界選手権をはじめオリンピック及びオリンピック予選にといった国際レースに弊クラブでは延べ31人の日本代表を派遣してきました。もちろん選考を含め合宿や遠征といった代表活動は勤務扱いです。

活動実績

| | | | | | |
|------------|------|-----|------------------|-----------|-----|
| ○2006年 | | | ○2015年 | | |
| ▷U23世界選手権 | LM4- | 12位 | ▷世界選手権 | LM4- | 18位 |
| ○2007年 | | | | LM2- | 13位 |
| ▷世界選手権 | LW2X | 9位 | ○2016年 | | |
| ○2008年 | | | ▷五輪世界最終予選 | LM4- | 5位 |
| ▷五輪アジア大陸予選 | LW2X | 優勝 | ▷世界選手権 | LM2- | 7位 |
| ▷北京オリンピック | LW2X | 9位 | ○2017年 | | |
| ○2009年 | | | ▷アジア選手権 | M4- | 3位 |
| ▷世界選手権 | LM2- | 10位 | | M8+ | 準優勝 |
| ▷アジア選手権 | LM4- | 優勝 | ○2019年 | | |
| | M8+ | 3位 | ▷エルゴ世界選手権 | | 23位 |
| ○2010年 | | | ▷アジア選手権 | M4X | 7位 |
| ▷世界選手権 | LM2X | 15位 | | W2X | 7位 |
| ▷アジア競技大会 | LM2X | 3位 | ○2021年 | | |
| ○2011年 | | | ▷東京パラリンピック | PR3 Mix4+ | 12位 |
| 代表選出 | | | ○2022年 | | |
| ○2012年 | | | 協会指定コックス選出 | | |
| ▷世界選手権 | LM1X | 18位 | ○2023年 | | |
| ○2013年 | | | ▷アジア競技大会 | W8+ | 準優勝 |
| 代表選出 | | | | LW2X | 5位 |
| ○2014年 | | | ▷アジア競技大会 | PR3Mix4+ | 4位 |
| ▷世界選手権 | LM4- | 15位 | コースタルローイング日本代表選出 | | |
| ▷アジア競技大会 | M8+ | 準優勝 | | | |



メンバー紹介



- ①八潮高→中央大
- ②2006年
- ③TMG本部
人財開発センター
- ④選手の声を通りやすい
代表活動に専念しやすい



- ①立教新座高→立教大
- ②2017年
- ③TMG本部 総務部
広報・情報システム課
- ④自主自律できる環境



- ①出身校
- ②入会年
- ③勤務先
- ④チームの良い所

- ①川越東高→立教大
- ②2018年
- ③戸田中央リハビリテーション病院
医事課
- ④意識の高さ、職場からの応援



- ①国学院久我山高→東北大
- ②2019年
- ③TMG本部 人事部
ウェルビーイング課
- ④選手の主体性



- ①小見川高→日本大
- ②2014年
- ③戸田中央総合病院 総務課
- ④病気怪我のアフターケアの良さ



- ①猿投農林高→日本体育大
- ②2019年
- ③(株)ふれあい広場
- ④職場と練習場の近さ
チームの仲の良さ

メンバー紹介



- ①米子東高→早稲田大
- ②2021年
- ③TMG本部 総局長室
- ④ボートに集中できる環境
(勤務への配慮、職場の近さ)
選手主体のチーム運営



- ①小松川高→中央大
- ②2022年
- ③(株)TLC 総務課
- ④職場が近く練習に集中出来る
懐の深さ



- ①出身校
- ②入会年
- ③勤務先
- ④チームの良い所

- ①吉田高→中央大
- ②2020年
- ③TMG本部 経営支援部
経営支援課
- ④自主性の尊重
競技に打ち込める環境



- ①七尾高→金沢大
- ②2022年
- ③戸田中央産院 医事課
- ④職場と練習場が近い
先輩たちが気さくで面白い



- ①盛岡第三高→東北大
- ②2023年
- ③(株)日本白十字社
プロキュアメント事業部
- ④自主性の尊重
競技に打ち込める環境



- ①浦和第一女子高→早稲田大
- ②2006年
- ③とだ優和の杜 事務課
- ④職場と練習場が近い
職場からの応援

2023年 年間予定

Mar.

日本代表選考

May.

全日本選手権



Jun.

国体埼玉県予選
Beach Rowing Sprint Games Imabari
全日本社会人選手権



Jul.

国体関東ブロック



Sep.

オックスフォード盾レガッタ
国民体育大会



1日の流れ

週間ルーティーン例

| | Mon. | Tue. | Wed. | Thu. | Fri. | Sat. | Sun. |
|----|------|------|------|------|------|------|------|
| AM | 乗艇 | 乗艇 | 乗艇 | 乗艇 | 乗艇 | 乗艇 | OFF |
| PM | 乗艇 | 乗艇 | ウエイト | OFF | 乗艇 | ウエイト | OFF |

職場が戸田市内と近く通勤に時間を要しない為他のチームと異なり、無理のない範囲内で出勤前の乗艇が可能。
また、下記のようにトレーニングの勤務への配慮もある為本気でボートに挑戦し続けたい人にはこの上ない環境である。

指定強化選手の1日のタイムスケジュール

4:30 起床
5:30 AMモーション 岸蹴り
7:00 AMモーション 終了
8:30 出勤
13:00 退勤
15:00 PMモーション
17:30 帰宅
～各自自由時間～
22:00 就寝

前年度に全日本級の大会で4位以内(入職年はインカレ含む)の場合、強化指定選手として認定され、勤務面で優遇されます。
※2023年度は全所属選手が強化指定選手に認定されています。

勤務時間については、月曜日は8:30～17:00であるがそれ以外の日は**8:30出勤13:00退勤**で午後は出勤扱いで**トレーニング**となる。

また、全日本級の大会(国体県予選、国体ブロック含む)の**大会1週間前は合宿・調整期間として出勤が免除**され、職場の全面協力の元、競技に打ち込むことができます。

勤務について

勤務先

配属先は戸田市内の戸田中央メディカルケアグループの事業所であり選手全員が戸田公園駅・ボートコース周辺の施設へ勤務します。勤務先が戸田市内であるため、自宅・練習場・職場がそれぞれ近く通勤に時間が奪われることなく、また満員電車での通勤もない為その分、競技に集中することができます。

配属先

配属先は、大きく分けて、病院施設と関連事業所に分かれます。

病院勤務



受付業務

医事課

地域医療連携課



他院からの紹介状や受け入れ対応など

総務課



物品管理や職場環境の整備など

関連事業



TMG本部

社内稟議の処理など

関連事業所
関連会社



検査依頼の処理など

Pick Up!

TMG本部とは…
一般企業でいう本社のようなもの。
グループの組織運営・経営統括部署、
業務支援を行う。

給与等について

初任給 基本給(大卒) 185,000円 + 住宅補助15,000円 ※一般職員同等
寮の場合、家賃自己負担額4割(6割会社負担)

賞与 年2回(7月、12月)

昇給 年1回

成長できる環境がある

Q. 戸田中央総合病院RCに決めた理由

元々は、チームを知らなかったのが正直なところ。戸田で漕ぎたいという想いと、安定した就職先であること、そしてオリンピックに向けてボートに専念したかったので職場・家とボートコースが近く、自分次第で成長できる環境があるからです。

Q. 戸田中央総合病院RCの良いところ

平日午後は勤務扱いで練習できることです。また、職場が近いので大会の時にコースに来てくれるなど身近で応援されている事を実感できます。また、日本代表活動にも勤務面資金面など様々な面で支援していただきました。

Q. 産休・育休について

産休・育休は取りやすい職場です。私は2014年12月～16年3月と2020年7月～21年8月までの2回取得しました。保育園も職場併設のものを利用させていただきました。

Q. 選手復帰について

2011年に一度引退をしました。当時は世界選手権やオリンピックで子供を連れてくる選手を見て憧れはありましたが、当時は選手復帰しようとは特に考えていませんでした。その後結婚・出産を経た際に「もう一度漕ぎたい」「産後復帰選手第1号になって日本のボート界にそういう選択肢を示したい」と思うようになり、5年間空きました。職場の理解も得ることが出来て2016年に復帰しました。復帰後2年間活動し、全日本選手権でメダルを獲得できました。

Q. キャリアについて

戸田中央メディカルケアグループに入職した理由にオフィスで働くというより人と関わった仕事をしたいという想いがあったのもあり、また医療福祉分野に関する知識が増え、やってきたことに対する誇りもあります。働いていく中で介護福祉に興味が出て、今は異動の希望も通り介護福祉関連の事業所でやりたい仕事できています。仕事では介護士などではないので利用者さんに直接関わる機会は多くないですが利用者さんにとってより良い環境を作っていきたいです。ボートでは、オリンピックの経験を伝えたりボートを通して子供と関わったりしたいと考えています。

Q. 戸田中央総合病院RCを選択肢に入れている選手にメッセージ
熱い想いは伝わると思うので自分の目標を強く持って、私たちもサポートをするので一緒に頑張りましょう。

浜田 美咲

現在、とだ優和の杜 事務課係長、
チームのアドバイザーも務める。2006年入会。
早稲田大卒。北京オリンピックLW2X日本代表。



施設紹介

艇庫



私たちは、1700m地点にある戸田市立艇庫を拠点にしており
乗艇する際はそれぞれの自宅から艇庫に集まります。
弊クラブでは1Xを含めクラブ所有のボートを使用していますが
個人で購入したボートを艇庫に置き使用している選手もいます。

トレーニングセンター



ウエイトやエルゴなど室内練習は戸田親水公園向かいにある
TMG TRAINING CENTER (通称トレセン)で行っています。
トレセンは冷暖房完備の為、夏の暑い中でも暑さを気にすることなく
そして広々とした空間でトレーニングを行うことができます。
シャワー室も完備しており、また使用頻度の低い艇を置く
艇庫スペースもあります。

社会貢献活動

普及活動

戸田ボートコースにおいて年18回開催されている戸田市主催のボート教室の講師を務めています。地域に根付いた職場で働くアスリートだからこそ人との繋がりを大切にし、ボートの普及、スポーツの価値の向上に、チームとして選手として、精力的に取り組んでいます。



ピンクリボン運動

戸田中央メディカルケアグループでは乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推奨する世界的な啓発キャンペーンである「ピンクリボン運動」を推進に努めており、弊クラブでもキャンペーンの象徴であるピンクリボンをローイングスーツにデザインするなど推進活動を行っています。



フードドライブ

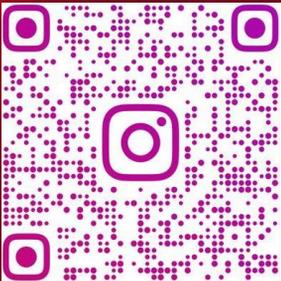
フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄っていただき取り纏めたものを支援団体を通じて子ども食堂や福祉施設などに寄付する活動です。

弊クラブでは戸田で行われる大会や

TMGのソフトボールチームである

戸田中央メディックス埼玉のホームゲームでフードドライブを実施し、NPO法人フードバンク埼玉を通じて食品を届ける活動を行っています。





Instagram



Twitter



Facebook



ホームページ

事務局
住所
TEL
Mail

野中誠司
埼玉県戸田市本町1-22-3
048-442-6418(代)
todachuo_rowing@tmg.or.jp

作成者：来海